

# 企業価値を支える取組み

## CSR マネジメント

### 環境配慮製品の歩みと展開



## Environmental

### 地球環境と安全のために

- P19 レスポンシブル・ケア活動を推進
- P21 地球温暖化防止  
廃棄物の削減とゼロエミッション
- P22 化学物質の総合管理
- P23 大気・水の保全
- P24 労働安全衛生



## Social

### 社会とともに

- P25 製品品質の維持・向上
- P26 サプライチェーンマネジメント
- P27 社員とともに〈Engagement〉
- P31 地域社会・国際社会での貢献活動



## Governance

- P35 コーポレート・ガバナンス

# CSRマネジメント

日本ペイントホールディングスグループが考えるESG経営とは、当社グループ企業理念に掲げる「共存共栄」の実践により、ステークホルダーの皆さまに新たな価値を提供することです。2017年度、当社グループでは、持続可能な社会の実現と当社の持続的な成長に向けて取り組むべきマテリアリティ(重要課題)を選定し、マテリアリティに基づくCSR目標を設定しました。

## マテリアリティ(重要課題)の選定プロセス

### STEP 1 重要課題の把握・整理

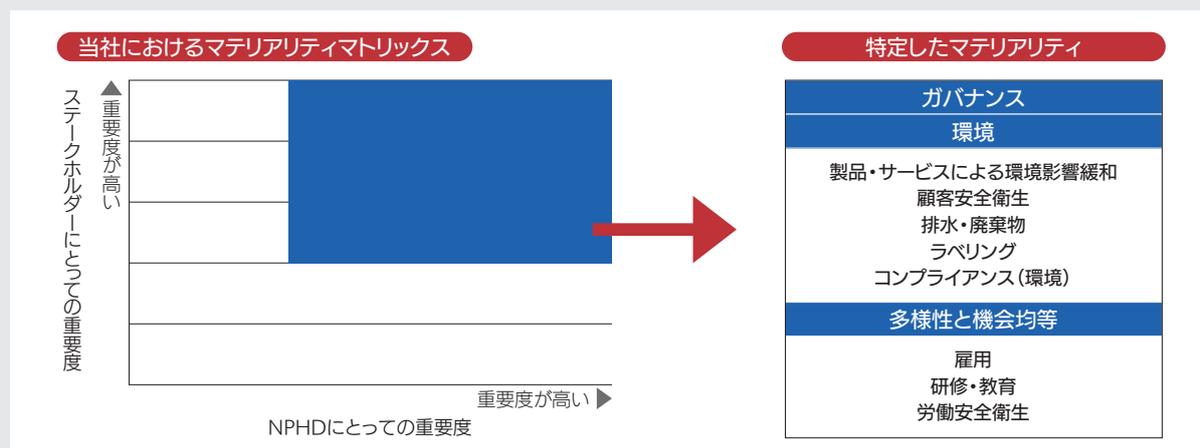
- ① 主要ステークホルダーの当社への期待を社会の要請として収集しました。
- ② 当社における中長期の経営課題を分析し事業における重要課題を把握しました。
- ③ ①および②をGRIガイドライン(G4)をもとに分析・分類し、社会の要請に対して当社グループが取り組むべき重要課題を把握しました。

### STEP 2 優先順位付け

- STEP1で把握した重要課題を、「ステークホルダーにとっての重要度」と「当社グループにとっての重要度」の2軸で総合的に評価し、優先順位付けを行いました。

### STEP 3 マテリアリティの選定 CSR目標の設定

- STEP2で得た結果を整理し、当社グループが優先的に取り組むべき重要課題(マテリアリティ)を選定しました。
- 当社経営会議で審議し、マテリアリティの妥当性を確認のうえ、2020年に向けたCSR目標を設定しました。



## CSR目標の設定

特定したマテリアリティを「ガバナンス」「環境」「ダイバーシティ」の3分野に括り直し、それぞれについて、2020年に向けたありたい姿(目標)を設定しました。

側面	ありたい姿	課題	2020年度の目標(達成状態)
ガバナンス	グローバル競争に 対峙し得る ガバナンス体制	● <b>経営理念</b> の共有 ● <b>RHQ体制</b> の確立(米州・欧州・アジア)	① 経営理念浸透活動の定着 ② CSR推進体制確立 ③ <b>NNモデル</b> の展開 グローバルガバナンスの全体調和
環境	環境対応による 価値創造が 事業・収益を拡大	● <b>環境配慮製品</b> の創出・普及 ● 化学物質の適正管理	グローバルで ① 環境配慮製品の開発促進・普及 ② 排出化学物質の適正管理・削減
多様性	多様な人材の 集結による 「知の多様化」	● <b>多様な人材</b> が共働 ● 意思決定の場で多様な人材が尊重される ● 安心して働ける職場	グローバルで ① <b>統一基準の人事制度</b> 構築 ② 多様な働き方・人材の定着・活躍 ③ 「 <b>世界の舞台</b> 」で活躍できる人材確保 ④ 重大労働災害0件